

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 整理番号 | 09-034                            |
| 製品名  | BARIAN ウイルス・菌除去清掃ウェットシート 20枚入 含浸液 |
| 会社情報 | 会社名 山崎産業株式会社                      |
|      | 住 所 兵庫県伊丹市北伊丹6-67                 |
|      | 電話番号 072-782-0991                 |
|      | FAX番号 072-782-5779                |

### 2. 危険有害性の要約

|                   |        |
|-------------------|--------|
| GHS分類             |        |
| 物理化学的危険性          | 該当なし   |
| 健康に対する有害性         |        |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性      | 区分3    |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分外    |
| 発がん性              | 分類できない |
| 生殖毒性              | 区分1    |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露)   | 区分外    |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露)   | 区分外    |
| 環境に対する有害性         |        |
| 水性環境有害性(急性)       | 区分外    |
| 水性環境有害性(長期間)      | 区分外    |

GHSラベル要素  
絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険  
危険有害性情報 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き

安全対策

使用時に取扱説明書を入手すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

応急措置

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。  
皮膚に付着した場合:多量の水で洗うこと。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。  
皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合は洗濯をすること。

保管

密封し、危険物倉庫等に施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

使用上の注意

### 3. 組成、成分情報

|               |     |
|---------------|-----|
| 単一製品・混合物の区分   | 混合物 |
| 官報公示整理番号(化審法) | 有り  |
| 官報公示整理番号(安衛法) | 有り  |

| 成分    |            | 含有量 % | CAS番号      |
|-------|------------|-------|------------|
| 除菌剤   | 塩化ベンザルコニウム | 0.10  | 8001-54-5  |
| 除菌剤   | PHMB       | 非公開   | 27083-27-8 |
| エタノール |            | 非公開   | 64-17-5    |

|         |     |     |
|---------|-----|-----|
| 界面活性剤   | 非公開 | 非公開 |
| 防錆剤     | 非公開 | 非公開 |
| 水 その他成分 | 非公開 | 非公開 |

#### 4. 応急措置

|           |   |
|-----------|---|
| 眼に入った場合   | 清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、刺激が続けば眼科医の手当てを受けること。<br>洗眼の際、眼瞼を指でよく開いて、眼瞼・眼球のすみずみまで水がよく行きわたるように洗浄する。<br>もし、コンタクトレンズを使用の場合は、固着していないかぎり、取りのぞいて洗浄を続ける。 |
| 皮膚に触れた場合  | 汚染された衣類・靴などを脱ぎすてる。洗濯してから再使用する。<br>製品の触れた部分を水で洗浄し、石鹸を使ってよく洗い流す。<br>外観に変化がみられたり、痛みが続くときは、速やかに医師の手当てを受ける。                                  |
| 大量に吸引した場合 | 患者を直ちに空気の新鮮な場所へ移し、安静保温につとめ、速やかに医師の手当てを受ける。  |
| 飲みこんだ場合   | 嘔吐させてはならない。牛乳または水をのませて、速やかに医師の手当てを受ける。  |

#### 5. 火災時の措置

|             |   |
|-------------|---|
| 消火剤         | 粉末消火剤、水噴霧                                     |
| 使ってはならない消火剤 | 情報なし  |
| 特有の危険有害性    | 加熱又は火災時に有毒ガスを発生する恐れがある。                       |
| 特有の消火方法     | 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。 |
| 消火を行う者の保護   | 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。               |

#### 6. 漏出時の措置

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 人体に対する注意事項<br>保護具及び緊急時措置      | この製品の蒸気にさらされる危険性がある場合は、呼吸用保護具、眼鏡、手袋を着用する。<br>多量の場合、人を安全に退避させる。<br>必要に応じた換気を確保する。                |
| 環境に対する注意事項<br>封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 環境への放出を避けること。<br>漏出物を閉じ込め、不燃性材料(たとえば乾燥砂または土、珪藻土、パーミキュライト等)に<br>吸収して集め、自治体の規定又は国内規制に従って廃棄容器に入れる。 |
| 二次災害の防止策                      | 情報なし  |

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

|           |   |
|-----------|---|
| 取扱い       |   |
| 技術的対策     | 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。  |
| 安全取扱い注意事項 | 皮膚や眼との接触をさけること。作業場では十分な換気、又は排気設備を設置する。  |
| 接触回避      | 情報なし  |
| 衛生対策      | 皮膚、眼、衣類との接触を避けること。休憩前やこの製品を使用した直後は、手を洗うこと。<br>汚染された衣服や手袋を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 |
| 保管        |   |
| 安全な保管条件   | 容器を密封し、換気の良い場所で、高温、直射日光を避けて保管すること。<br>施錠をして保管すること。                            |
| 安全な容器包装材料 | 情報なし  |

#### 8. ばく露防止及び保護措置

|            |   |
|------------|---|
| 設備対策       | 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。<br>適切な排気換気装置を使用する。         |
| 管理濃度       | 設定なし  |
| 保護具        |   |
| 呼吸用保護具     | 状況に応じ着用   |
| 手の保護具      | 適した素材の手袋を着用する。  |
| 眼の保護具      | 状況に応じ安全ゴーグル、フェイスシールド等を着用する。                               |
| 皮膚及び身体の保護具 | 作業場では、使用量及び濃度に応じて、身体用保護具を選ぶこと。<br>ゴム又はビニールエプロン、ゴム又はビニール長靴 |
| 適切な衛生対策    | 情報なし  |

## 9. 物理的及び化学的性質

|                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 外観                      |               |
| 物理的状态／形状                | 液体            |
| 色                       | 透明            |
| 臭い                      | 若干の特異臭        |
| 臭いの閾値                   | 情報なし          |
| pH                      | 5.5±0.5 @ 20℃ |
| 融点(流動点)                 | 情報なし          |
| 沸点                      | 情報なし          |
| 引火点                     | 情報なし          |
| 蒸発速度                    | 情報なし          |
| 燃焼性(固体、ガス)              | 情報なし          |
| 燃焼又は爆発範囲                | 情報なし          |
| 蒸気圧                     | 情報なし          |
| 密度(比重)                  | 情報なし          |
| 溶解度                     |               |
| 水溶解性                    | 情報なし          |
| 溶媒溶解性                   | 情報なし          |
| n-オクタール/水分分配係数(log Pow) | 情報なし          |
| 自然発火温度                  | 情報なし          |
| 分解温度                    | 情報なし          |
| 粘度(粘性率)                 | 情報なし          |
| その他のデータ                 | 情報なし          |

## 10. 安定性及び反応性

|            |      |
|------------|------|
| 化学的安定性     | 情報なし |
| 危険有害反応可能性  | 情報なし |
| 避けるべき条件    | 情報なし |
| 混触危険物質     | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |
| その他        | 情報なし |

## 11. 有害性情報

|                   |        |
|-------------------|--------|
| 急性毒性              |        |
| 経口                | 区分外    |
| 経皮                | 区分外    |
| 吸入                | 情報なし   |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性      | 区分3    |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分外    |
| 発がん性              | 分類できない |

エタノールは【区分1A】に分類されており、含有率がカットオフ値(0.1%)を超えているため【区分1A】相当であるが、この評価に用いたデータは、ラット雄雌をもちいた飲水による生涯試験であり、ヒトでの飲酒を想定して高用量(10%)で実施されている。

その他、エタノールについて人の食道などに悪性腫瘍を誘発するなどのデータはあるが、いずれも飲酒に起因するデータであり、使用目的を考慮し、発がん性分類に採用するデータとしては適当でないと判断した。

|                 |   |
|-----------------|---|
| 生殖毒性            | 区分1 : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  |
|                 | エタノールは【区分1A】に分類されており、含有率がカットオフ値(0.3%)を超えているため、【区分1】とした。ただし、エタノールが【区分1A】に分類されている根拠が、妊娠期に大量かつ慢性的にアルコールを飲んだアルコール依存症の女性と関連しており、産業的な経口、経皮、吸入ばく露による報告はないことから本製品の通常の使用範囲では生殖毒性はほとんどないと考えられる。 |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分外   |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分外   |
| 環境に対する有害性       |   |
| 水性環境有害性(急性)     | 区分外   |
| 水性環境有害性(長期間)    | 区分外   |

---

## 12. 環境影響情報

|         |      |
|---------|------|
| 生態毒性    | 情報なし |
| 急性有害性   | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生態蓄積性   | 情報なし |
| 土壌中の移動性 | 情報なし |
| 他の有害影響  | 情報なし |

---

## 13. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理業者に委託する。  
水質汚濁防止法などの関連法規に適合するように廃棄する。

---

## 14. 輸送上の注意

|                |  |
|----------------|--|
| 国際規制           | 航空輸送はIATA 海上輸送はIMDGの規定に従う。   |
| 国連分類・国連番号      | 該当しない。(IATA、IMDG)  |
| 国内規制           |  |
| 陸上輸送           | 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。   |
| 海上輸送           | 船舶安全法に定められている運送方法に従う。  |
| 航空輸送           | 航空法に定められている運送方法に従う。  |
| 輸送の特定の安全対策及び条件 | 漏出時の措置を参照。<br>取扱い及び保管上の注意を参照。<br>容器の破損、漏れがない事を確認する。<br>荷崩れ防止措置を行う。<br>該当法規に従い、梱包、表示、輸送を行う。 |

---

## 15. 適用法令

|  |              |
|--|--------------|
| 化学物質排出把握管理促進法                              | 該当しない        |
| 労働安全衛生法:第57条-施行令第18条-名称等を表示すべき危険物及び有害物     | エタノール 0.1%以上 |
| 労働安全衛生法:第57条の2-施行令第18条の2-名称等を通知すべき危険物及び有害物 | エタノール 0.1%以上 |
| 毒物及び劇物取締法                                  | 該当しない        |
| 消防法  | 該当しない        |

---

## 16. その他の情報

危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。  
記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて一般的な取扱いを前提にして作成してありますが、ご需要家各位は、これを参考にして自らの責任において、個々の取扱い等の実施に応じた適切な措置をお取りくださるようお願い致します。